

ベトナムにおける地域医療情報ネットワークの導入に向けた課題（1/2）

1)から、ベトナムにおいて地域医療情報ネットワークの導入可能性は高いと考えられるが、地域医療情報ネットワークを導入するためには、ベトナム電子政府計画で上げられているとおり、**医療情報が漏洩・破壊等されないよう、情報セキュリティを確保することが必要**であると考えられる。

また、ベトナムの医療機関において地域医療情報ネットワークを効果的に運用するためには、**医師や看護師、スタッフ等**の職員がITを十分に活用するための**ITスキルを習得**することが必要である。とくに医療機器の制約があつて、ITに不慣れなコミュニケーションヘルスステーションの職員のITスキルを高めることが求められると考えられる。

さらに、ベトナムの医療機関が地域医療情報ネットワークを通じて医療情報を交換する際には、お互いの医療機関が管理しやすいよう、医療情報の標準化が必要なため、国際的に普及している米国で開発された**HL7（Health Level Seven）等の適用が可能かどうか**を検討することが必要であると考えられる。なお、日本ではHL7を適用した厚生労働省電子的診療情報交換推進事業（Standard Structured Medical Record Information Exchange：SS-MIX）の普及に取り組んでいる。くわえて、地域医療情報ネットワークでは患者は複数の医療機関で保健医療サービスを利用することから、**医療機関が患者の過去の医療情報を参照**しやすいよう、ベトナムで導入が進められている**国民IDカード等を活用して患者と医療情報を紐付ける**ことが必要だと考えられる。

ベトナムにおける地域医療情報ネットワークの導入に向けた課題（2/2）

ベトナムは皆保険制度の実現をめざしており、地域医療情報ネットワークの導入にあわせて、所得の低い地域の住民も適切な保健医療サービスを確実に利用できるよう、医療保険を拡大して保健医療サービスを利用しやすい環境を整備することも必要だと考えられる。

なお、地域医療情報ネットワークは、多くの医療機関において患者に対する保健医療サービスの向上に役立つと考えられるが、医療機関の収益の向上とは直接結び付きにくいいため、行政機関が公共サービスの一環と位置付けて費用を負担する等の支援が必要であると考ええる。そのため、ベトナムにて地域医療情報ネットワークを導入する際には、医療機関や行政機関での必要性や支払い能力等を考慮し、保健医療分野の5カ年計画で挙げられているODAやNGO等の国際協力を活用した財源の確保や費用の負担も必要であると考えられる。